



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社

コード番号 8075

URL <http://www.shinsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森地 高文

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 濱村 和裕 (TEL) 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	237,317	33.5	1,972	148.6	2,376	95.1	1,818	—
29年3月期第1四半期	177,778	△17.8	793	△53.3	1,217	△40.6	66	△95.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,735百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △942百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	205.43	—
29年3月期第1四半期	7.47	—

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	263,151	49,375	17.7
29年3月期	257,510	47,682	17.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 46,491百万円 29年3月期 45,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	4.00	—	60.00	—
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期第2四半期期末の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合前の実際の配当金の金額を記載し、平成29年3月期の年間配当金は「—」として記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	450,000	25.7	3,300	76.7	3,700	69.5	2,500	64.3	282.38
通期	850,000	10.5	5,300	10.0	5,800	10.5	3,700	24.6	417.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	8,860,562株	29年3月期	8,860,562株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	6,459株	29年3月期	6,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	8,854,112株	29年3月期1Q	8,854,910株

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)における世界経済は、堅調な米国経済に加え、中国をはじめとする新興国及び資源国等で持ち直しの傾向があり、総じて回復基調で推移しました。わが国経済は、依然として個人消費に力強さを欠くものの、堅調な輸出環境等に伴う企業収益の向上を背景に、設備投資、雇用環境に改善が見られる等緩やかな成長が続きました。

このような環境の下、当社グループは鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属のセグメントを中心に堅調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,373億17百万円(前年同四半期比33.5%増)、営業利益は19億72百万円(同148.6%増)、経常利益は23億76百万円(同95.1%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億18百万円(前年同四半期は66百万円の利益)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は以下のとおりです。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内向けは在庫調整の進展等により取扱量が増加し、堅調な製造業の需要に支えられ価格も上昇しました。また、輸出向けは取扱量が減少しましたが、価格は上昇しました。線材製品は国内外ともに取扱量が横ばいで推移しましたが、自動車向け価格の上振れの影響から価格は上昇しました。

この結果、売上高は806億34百万円(前年同四半期比20.0%増)、セグメント利益は10億71百万円(同54.6%増)となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が増加し、価格も上昇しました。冷鉄源は取扱量は減少しましたが、価格が上昇しました。また、合金鉄、チタン原料は取扱量が横ばいに推移しました。

この結果、売上高は865億10百万円(前年同四半期比75.0%増)となり、セグメント利益は4億19百万円(同133.7%増)となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は自動車向け端子材用銅板条、空調用銅管、半導体向け銅板条の取扱量が増加しました。アルミ製品は自動車用アルミ部材、液晶製造装置用アルミ加工品の取扱量が増加しました。また、非鉄原料は銅スクラップ、アルミ地金の取扱量が増加しました。

この結果、売上高は592億27百万円(前年同四半期比23.4%増)となり、セグメント利益は6億86百万円(同142.7%増)となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は製鉄所向け大型設備案件、ゴム機械等の取扱いは減少しましたが、熱処理炉、真空成膜装置、電磁ブレーキ等の取扱いが増加しました。情報関連商品はハードディスク関連機材等の取扱いは減少しましたが、液晶用電子材料、パソコン用部品等の取扱いが増加しました。

この結果、売上高は159億10百万円(前年同四半期比8.1%増)となり、セグメント利益は1億70百万円(前年同四半期は41百万円の損失)となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は造船、建築鉄骨、建設機械、国内流通向けの取扱量は堅調に推移しましたが、化工機、輸出向けが減少しました。溶接関連機器は汎用溶接機、鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いは堅調に推移しましたが、造船向け大型設備関連が減少しました。また、生産材料は溶剤原料、イルメナイトの取扱量が減少しました。

この結果、売上高は98億25百万円(前年同四半期比5.8%減)となり、セグメント損失は36百万円(前年同四半期は33百万円の利益)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日に公表した平成30年3月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,491	7,101
受取手形及び売掛金	153,234	168,291
商品及び製品	27,190	27,724
仕掛品	304	250
原材料及び貯蔵品	715	692
前払金	13,028	11,190
繰延税金資産	1,000	850
その他	3,726	4,405
貸倒引当金	△90	△92
流動資産合計	215,602	220,414
固定資産		
有形固定資産	8,611	8,830
無形固定資産	807	831
投資その他の資産		
投資有価証券	29,763	30,397
その他	3,019	2,964
貸倒引当金	△294	△288
投資その他の資産合計	32,488	33,073
固定資産合計	41,908	42,736
資産合計	257,510	263,151
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,661	128,702
短期借入金	31,788	34,688
未払法人税等	1,163	516
賞与引当金	842	520
その他	22,429	20,120
流動負債合計	181,884	184,548
固定負債		
長期借入金	23,184	24,101
役員退職慰労引当金	86	128
退職給付に係る負債	790	793
債務保証損失引当金	72	70
その他	3,808	4,133
固定負債合計	27,943	29,227
負債合計	209,827	213,776

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	33,850	35,138
自己株式	△19	△19
株主資本合計	42,185	43,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,769	3,167
繰延ヘッジ損益	0	60
為替換算調整勘定	309	△208
その他の包括利益累計額合計	3,079	3,019
非支配株主持分	2,417	2,883
純資産合計	47,682	49,375
負債純資産合計	257,510	263,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	177,778	237,317
売上原価	171,672	229,781
売上総利益	6,105	7,536
販売費及び一般管理費	5,312	5,564
営業利益	793	1,972
営業外収益		
受取利息	30	20
受取配当金	304	369
為替差益	—	104
デリバティブ評価益	126	—
持分法による投資利益	191	232
雑収入	159	118
営業外収益合計	812	845
営業外費用		
支払利息	171	173
売掛債権譲渡損	56	117
為替差損	86	—
デリバティブ評価損	—	91
雑損失	73	59
営業外費用合計	387	441
経常利益	1,217	2,376
特別利益		
負ののれん発生益	—	90
特別利益合計	—	90
特別損失		
投資有価証券評価損	1,011	—
会員権評価損	—	3
特別損失合計	1,011	3
税金等調整前四半期純利益	205	2,463
法人税、住民税及び事業税	210	505
法人税等調整額	△49	109
法人税等合計	161	614
四半期純利益	44	1,848
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	66	1,818

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	44	1,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288	393
繰延ヘッジ損益	△79	60
為替換算調整勘定	△1,147	△522
持分法適用会社に対する持分相当額	△48	△44
その他の包括利益合計	△987	△112
四半期包括利益	△942	1,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△761	1,758
非支配株主に係る四半期包括利益	△181	△23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	67,219	49,437	47,995	14,714	10,425	189,793	102	△12,116	177,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1	—	1	2	—	△2	—
計	67,219	49,437	47,996	14,714	10,426	189,795	102	△12,119	177,778
セグメント利益又は 損失(△)	693	179	283	△41	33	1,147	△0	71	1,217

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	80,634	86,510	59,223	15,910	9,822	252,100	68	△14,851	237,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3	—	2	6	—	△6	—
計	80,634	86,510	59,227	15,910	9,825	252,107	68	△14,857	237,317
セグメント利益又は 損失(△)	1,071	419	686	170	△36	2,312	△9	73	2,376

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。